



今週11月7日(月)は立冬でした。朝夕の冷え込みも増してきましたが、生徒たちはあまり寒さを感じない様子で元気に諸活動に取り組んでおります。11月からは部活動終了時刻が16時30分となりましたが、今週から教育相談期間に伴う短縮日課となり、1・2年生は余裕をもって部活動に取り組んでいます。

そして3年生は教育相談(三者相談)を経ていよいよ中学校卒業後の進路を決断していく時期となりました。

◇読書の秋、校内読書週間

今週は校内読書週間でした。図書委員会を中心に、書籍への関心を高め、読書習慣の確立の契機となる取組が実施されました。

図書室では「しおりづくり」体験や、図書室で本を借りる度にスタンプをもらいビンゴを完成させる読書ビンゴが実施されました。(読書ビンゴは今月末まで継続)また、11月9日(水)の生徒会朝会では、図書委員会が作成した読書啓発動画を各学級で視聴しました。さらには、「先生方のお薦めの本」の紹介が図書室入口に掲載されています。



【読書ビンゴ】



【しおりづくり体験】



【読書啓発動画】

☆校長が紹介した本

校長が「先生方のお薦めの本」として紹介したのは、**Michael J Sandel (マイケル・サンデル)** 著、**鬼澤忍 訳** 「**これからの「正義」の話をしよう**」です。

第2学期始業式の校長式辞で、この著書の一文を紹介したことから、「お薦めの本」としました。しかし、大学の哲学の先生が自分の講義の内容をまとめた著書で、中学生が理解するのは少々難しい内容です。そのため、今すぐ読むことを薦める本ではなく、何年か後の社会人になる少し前に読むことを薦める本として紹介しました。

これからの
「正義」の
話をしよう

式辞では、「**我々は正しい行動をすることで正しくなり、節度ある行動をすることで、節度を身に付け、勇敢な行動をすることで勇敢になる**」という一文を紹介

介し、学校での様々な活動で、正しい行動、節度ある行動、勇敢な行動を積み重ね、自分で考え、判断し、正しく、節度があり、勇敢に行動する力を身に付けてほしいと伝えました。（校長室だより群竹 No26 にも記載）

式辞での引用はここまででしたが、著書の前段では、過去の事件や災害を例にあげながら、幸福、自由、美德の3観点から正義について迫っています。

例えば、アメリカのフロリダ州で発生したハリケーン（北太平洋西部では台風）で甚大な被害があり物資の多くが不足した際、水を高額な値段で販売する業者がいた。この業者の行為は正しいか、正しくないか？

結論については、この著書を読んで自分自身で確認していただきたいと思いますが、単純に業者の行為を非難することは書かれていません。

私がこの本を購入したのは2011年2月末、内容の難しさに加え、東日本大震災に伴う計画停電などがあり落ち着いて本を読む状況になかったことから、途中で読むことをあきらめてしまいました。このような難解な著書を生徒に薦めるのはいかがなものかと思いましたが、敢えて紹介することにしました。

◇改めて新型コロナウイルス感染に注意をお願いします

昨年の11月7日は第3学年修学旅行の初日でした。2度の延期を経ての実施でしたが、今年度は予定どおり6月に実施できました。また、他の学校行事もここまでのところ概ね予定どおり実施できており、やっと通常の学校生活が戻ってきたと感じております。

ただ、新型コロナウイルスの感染者は増加傾向にあり、専門家からは感染拡大第8波への警戒が指摘されています。一方、ワクチン接種が進み、治療薬も開発されてきたことから、感染者数が多い割には、深刻な状況とは認識されていないように感じます。とはいえ、感染すると一定期間本人はもちろん濃厚接触者となった家族も自宅待機となり外出の自粛が求められる措置は続いております。また、学級内で感染者が一定数確認された場合は臨時休業となり、教育活動が止まってしまいます。

そこで、佐野市教育委員会から先週末に「さくら連絡網」を通じてお知らせがあったとおり、学校での感染拡大を防止し、今後も教育活動を継続していくために、以下のことにご協力をお願いいたします。

- ご家庭でも基本的な感染対策を油断せずに行うようお願いします。
- 生徒自身に発熱や体調不良の症状が見られる場合は、登校を控え、医療機関の受診をお願いします。
- 生徒自身に症状が見られないが、同居の家族に発熱や体調不良の症状が見られる場合は、その家族が医療機関を受診した結果を踏まえ、生徒の登校についてご判断ください。